

むなかた市議会だより

令和6年
12月定例会号

令和6年

12月定例会の
あらまし

令和6年第4回宗像市議会定例会を、12月4日から12月24日までの21日間で開催し、市長提案議案23件、意見書案1件、議員提案議案1件について審議を行いました。

新年あけまして
おめでとうございます



岡本陽子議長

市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。日頃より、宗像市議会に多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大前のようなにぎわいの明るさ、活気を感じることができた一年だったと思います。

一方では、大雨や地震、台風など自然災害の多い年でもあり、改めて自然への脅威を感じるとともに、災害に強いまちづくりの大切さを感じた年でもありました。物価高騰や、少子高齢化も深刻さを増しています。

大きな時代の変化を感じ、中、議会を止めないためのオンラインによる委員会を開催できるような条例を改正したほか、久しぶりに開催した議会報告会では、市民の喫緊の課題として公共交通や地域コミュニティの活性化などのご意見をいただくなど、より多くの市民の皆さまにご参加いただけたような形を模索しながら、議会として取り組んでまいりました。

宗像市議会は昨年10月の改選を終え、新しい20人の体制でスタートしました。引き続き市民の皆さまに、より身近に感じていただき、目先だけでなく、はるか未来までも展望し、目の前の課題に果敢に挑戦し、信頼していただける議会となるよう全力で取り組んでまいります。

公職選挙法では議員は答礼のための自筆によるものを除き、年賀状などの時候のあいさつ状を出すことは禁止されています。市民の皆さまのご理解をお願いします。

宗像市議会議員一同

主な議案

市役所のフロア改革で
証明窓口を集約

第85号議案
宗像市手数料条例の一部を改正する条例について

市役所1階のフロア改修に伴い、税務課が行っていた証明書などの交付事務を市民課に移管し、複数の証明書を市民課でまとめて取得できるようにする。



フロア改修後の市役所1階

市の組織が変わります

第82号議案
宗像市行政組織条例の一部を改正する条例について

都市整備部を都市管理部に改め、各部に配属された技術職員を都市管理部に集約することで、技術の継承を図る。

都市再生課内に地域公共交通政策室を設置し、地域に根づいたきめ細やかな公共交通の整備に取り組む。

都市計画課内に雨水対策室を設置し、宗像市雨に強いまちづくりビジョンに基づき浸水対策をさらに加速させる。

教育政策課を教育総務課に改め、課内に教育支援室を設置し、室内に特別支援教育係のほか、学校におけるいじめや不登校などの相談に対応する教育相談係を設置する。

主な意見

《賛成者の意見》

技術職員を都市管理部に集約することで、技術の継承につながることを期待する。

安全安心な学校づくりに取り組んでほしい。

《反対者の意見》

市民サービスの低下が起これる内容である。また、議案の提案の仕方に大きな問題がある。

主な議案

低所得世帯への給付や
福祉施設への支援を実施

第99号議案
令和6年度宗像市一般会計補正予算(第6号)について

物価高騰対策に係る事業費の増額
(4億5194万2千円)

非課税世帯へ3万円の給付金を給付する。また、対象世帯のうち子ども1人当たり2万円の追加給付を行う。

介護、障がい、保育などの福祉施設に電気代などの補助を行う。

国や県からの交付金などが財源となる。

《賛成者の意見》

物価高騰対策について、市独自の支援策も視野に入れ、市民に速やかに対応が届くよう努力してほしい。

《反対者の意見》

物価高騰対策のための給付金や福祉施設などへの支援、職員の給与の引き上げは評価するが、市長や議員などの報酬の引き上げには反対する。

《賛成者の意見》

物価高騰対策について、市独自の支援策も視野に入れ、市民に速やかに対応が届くよう努力してほしい。

全員賛成で可決

ピックアップ!

うみんぐ大島・正助ふるさと村・かのこの里の指定管理者を決定

令和7年4月からの指定管理者を指定する3議案が提出されました。

うみんぐ大島は
株式会社むなかた大島に
指定期間4年間

株式会社むなかた大島は、SNSでの情報発信、さまざまなイベントの実施などで安定的な経営を図っています。

引き続き非公営により
選定し、株式会社むなかた大島を指定管理者とする提案がなされました。

宗像市正助ふるさと村は
株式会社正助ふるさと村に
指定期間2年間

株式会社正助ふるさと村は、農園体験や学びの場の提供、地域との連携事業を行い、福祉の向上や地域の活性化などに大きく貢献しています。

引き続き非公営により
選定し、株式会社むなかた大島を指定管理者とする提案がなされました。

とれとれプラザかのこの里はとれとれプラザかのこの里利用組合に
指定期間4年間

とれとれプラザかのこの里利用組合は、農産物や加工品の販売、特産品の研究、開発、地産地消の推進などを行っています。また、地元で生産された農産物を給食の材料として市内の小中学校に納品しています。

引き続き非公営により
選定し、とれとれプラザかのこの里利用組合を指定管理者とする提案がなされました。

指定管理者制度とは

公の施設の管理に民間の能力を活用することで、市民サービスの向上や経費削減などを図ることを目的に、市が指定する民間事業者など幅広い団体(指定管理者)に公の施設の管理運営を委ねる制度。その指定には議会の議決が必要です。

指定管理者決定までの流れ

公募または非公営で市が選考対象者を決定

選定委員会の開催

市が指定管理者(候補者)を決定

市議会での議決

指定管理者が決定

一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

令和6年12月5日から12月10日までの4日間にわたって、19人の議員が合計39項目の質問を行いました。

- ◆質問を届けた順に掲載しています。
- ◆掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています。
- ◆質問内容の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは2月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。



多文化共生について
宗像志政クラブ／安部 芳英



問 外国人と日本人とが相互に理解できるように、多文化共生を推進する必要があると考える。あわせて、人材不足解消のために外国人材を受け入れる環境を整備する必要があると考えるが、現状は。

答 市内の外国人の人口は、令和5年12月末現在1001人。外国人の皆さんが地域の一人として安心して生活し、働くことができるよう、コミュニケーションや生活の面での支援、多文化共生の意識啓発などの施策を進めていく必要がある。

問 今後は多文化共生



に重きを置いた施策やその背景が必要と考える。現場が今後混乱しないように、そして日本人も外国人も共に困らないように、多文化共生の推進計画や、多文化共生に関する係の設置が必要では。

答 早急に共生の在り方について議論し、まとめた。



不登校に関する諸課題について
宗像志政クラブ／伊達 正信



問 増加する不登校の子どもたちを支援するには、現状の受け皿では限界がある。国が進める「学びの多様化学校」(※3)の設置を目指す考えはないか。

答 市では不登校児童生徒などの学びの場を3施設確保しているが、学びの多様化学校についても調査研究を行い、効果や設置の可否について検討していきたい。



北九州市の「祖父母手帳」を参考に、本市でも孫育てのための祖父母手帳を作成し、子育てしやすい環境づくりを進めてはどうか。

答 孫育ての支援は地域全体で子どもの育ちを応援するまちづくりにつながると思う。配付方法や活用方法を研究した上で作成について検討していきたい。

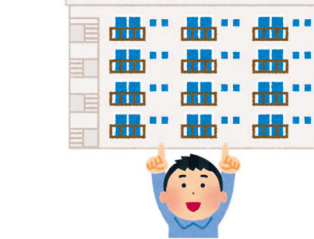


離島の住宅施策について
宗像志政クラブ／小林 栄二



問 大島地区の市営住宅の空き状況及び移住、定住施策への積極的な活用について市の見解は。

答 市が管理する市営住宅のうち4戸が未入居である。市営住宅は入居要件などがあるが、空室を積極的に活用してもらい、移住、定住につなげていきたい。



目撃情報や寄せられた場合、警察と情報共有を行うとともに、関係各所へ注意喚起の連絡を行う。また、有害鳥獣が市街地にとどまっていれば、警察や猟友会と現地向かい、山への追い払いや駆除を行っている。



住民の要望を反映した公共交通を
日本共産党／神田 亜希子



問 公共交通をどう考え、捉えているか。

答 市民が生活する上で必要不可欠な移動手段であり、重要な社会基盤と位置づけられている。持続可能な公共交通にするために、市民に公共交通計画への理解を深めてもらう必要があるのではないかと考える。

答 理解を深められるよう広く啓発したい。

問 自治会などに出向いてバス路線の廃止や公共交通計画について説明することは可能か。

答 要望に応じて自治会や組へ説明に行く。



問 燃やすごみの減量によって温室効果ガスを削減し、環境を守ることは重要な課題ではないか。

答 CO2などの排出量の削減に努めている。



どうなる本市の公共交通
未来むなかた／北崎 正則



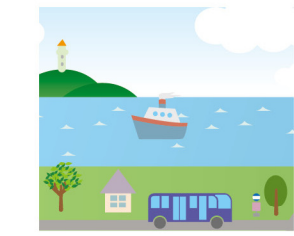
問 本市における公共交通の現状と課題は。

答 利用者の減少、バスの運転手不足や運行経費の増加など、公共交通を取り巻く環境は厳しい。特にバスの運転手不足は深刻である。

問 課題に対する具体的な手立ては。

答 自動運転バスやBRT(※1)、公共ライドシェア(※2)などの新たな交通サービスを導入し、これまでの交通手段にとられない手法への転換を図る。

問 北部地区(玄海・大島地区)の公共交通施策はどのように進めているのか。



北部地区は西日本鉄道株式会社からバス路線廃止の申し出があるため、今後は地域公共交通計画に示すネットワークイメージをもとに、路線を再編し、代替交通を検討したい。

(そのほかの質問)

・本市の第一次産業の生産性の向上に向けて



公共交通網の再構築を
日本共産党／川内 亮



問 高齢者の増加に伴い、運転免許証の自主返納後の移動手段に困る市民が増えている。高齢者のドア・トゥ・ドアの移動支援が急務となっている中、埼玉県鴻巣市では従来型路線バス、市民誰もが利用できるオンデマンド乗り合いタクシー、登録型予約制の福祉オンデマンドタクシーを組み合わせた市民満足度の高い公共交通を実現している。本市もこのような成功事例を早急に調査研究し、導入すべきではないか。

答 昨年度から公共交通ネットワークの再編



に取り組んでおり、自宅から目的地までの移動が課題になっていると考えている。鴻巣市のような先進事例を今後調査し、実施に向けて検討していきたい。



子どもの居場所づくりについて
清政郷土むなかた／花田 哲司

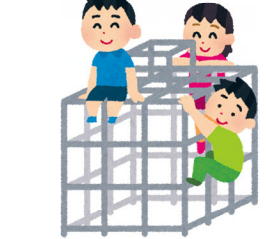


問 子どもの居場所にはどのような場所があるのか。

答 学校、コミュニティセンター、公園などの公の施設や、子どもの居場所づくり事業としてプレパーク、中高生の居場所Rissus Munakata!(リーススムナカタ!)などがある。

問 子どもの居場所にはどのような効果があると考えられるか。

答 多様な体験活動や外遊びの機会に接することで、自立性や社会性を養うことができ、子どもの育ちに極めて重要な効果があると考える。



問 新たな視点での取り組みは。

答 子どもの権利保障やライフステージに応じた支援、誰一人取り残さない支援、希望の形成支援などの施策を展開する。

(そのほかの質問)

・公園管理と設備について



特別支援学校の開校に向けて
公明党／木村 武士



令和8年4月に福岡教育大学敷地内に県立の特別支援学校が開校予定である。県立だが、誘致した自治体としての責任がある。

問 開校に向けた進捗状況を市は把握しているのか。

答 開校に向け、工事の進捗や教育課程の編成など順調に進んでいると聞いている。

問 開校に向けた情報発信は。

答 市のホームページの活用を検討する。また、放課後等デイサービス事業者などへ速やかかつ、適切なタイミングで情報提供するように



県と協議を進める。

問 放課後等デイサービスの現状と開校後に推測される課題は。

答 市内事業所は22カ所あり、利用者は年々増加している。開校後の課題として、市外からの利用が増え、市内事業所の定員が不足する可能性があるが、増設などで対応する。

(※4) 主治医との密接な連携のもと、「通い」、「泊まり」、「訪問（看護・介護）」を利用者の状態に応じて柔軟に提供し、在宅生活を支えるサービスのこと



公共交通の充実について 日本維新の会／岩岡 良



問 市内で公共交通を乗り継ぐ度に運賃がかかる。改善できないか。

答 まずは、来年度にふれあいバスに「通し運賃」を導入し、乗り継いでも1回分の料金で目的地まで行ける実証を始める。

コミュニティ施策上の課題解決を

問 河東地区における課題をどのように認識し、解決するつもりか。

答 河東地区の範囲が広いので、コミセンの利便性について区域内で不公平感が生じている。河東西地区における活動拠点の必要性は



「こみの収集に柔軟性を」
問 当日の早朝以外でも家庭ごみを出せる集積所を設置できないか。

答 どのような形が望ましいか調査研究する。



緑風園跡地の活用について 宗像志政クラブ／森田 卓也



問 緑風園跡地について、柏芳会との協議に進展はあったか。

答 緑風園と付帯施設のデイサービスセンターの建物を撤去し、更地にして市に返すとの説明があった。

問 第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画では、看護小規模多機能型居宅介護（※4）の施設整備を行うことになっているが、整備の状況は。

答 市内に1カ所の施設整備を目指し、令和6年度は9月から公募を実施しているが、現在のところ応募には至っていない。第9期計



問 緑風園跡地を福祉や健康を起点としたまちづくりの拠点として活用できないか。

答 福祉や健康の分野を柱に据え磨くことが、吉武地区にとって魅力ある地区の形成につながると考える。



生活に不可欠な公共交通の確保を ふくおか市民政治ネットワーキング／田中 るみ子



令和6年7月に西鉄バスから一部の市内バス路線廃止の申し出があった。市は、策定中の第3次宗像市総合計画（案）で目指す将来像として「ずっと住みたいまち宗像」を掲げており、生活に必要不可欠な公共交通の確保は、今後の地域づくりの重要な課題である。

問 調査アンケートをどう生かすのか。

答 重要な市民ニーズとして、公共交通の再編に反映したい。

問 今後の公共交通再編の基本的方針は。

答 基本方針として便利で利用しやすい持続



問 西鉄バス路線の一部廃止に関する市民への説明や意見聴取は。

答 コミュニティ会長を通じ地域へ報告するほか、全戸配布される市の広報紙やホームページなどで市民に周知したい。



食を通じた学びを子どもたちに 宗像志政クラブ／木藤 裕司



問 学校給食における地場産物の活用の現状は。

答 自校式100%のよさを生かしながら、食のまち宗像を推進するため、これまで以上に地場産物の活用を拡充している。具体的には、毎月むなかた育ちウイークを設定し、宗像産の農

問 学校給食における地場産物の活用の現状は。

答 自校式100%のよさを生かしながら、食のまち宗像を推進するため、これまで以上に地場産物の活用を拡充している。具体的には、毎月むなかた育ちウイークを設定し、宗像産の農

問 小中学生スポーツ新事業「むなかたっ子熱くなれシリーズ」について

答 むなかたっ子熱くなれシリーズの狙いは、宗像市在住の小中学生を対象にしている



宗像産大豆を使ったカレーの給食



誰でも利用できるトイレの整備を 未来むなかた／三島 隆由



障がい者にとって住みよいまちには、全ての人にとって優しいまちと考える。

問 赤間駅南口の多目的トイレを温水洗浄便座に変更できないか。

答 今年度中の温水洗浄便座設置に向け準備する。また、現在試験的

問 赤間駅南口の多目的トイレ

答 今年度中の温水洗浄便座設置に向け準備する。また、現在試験的

問 赤間駅南口の多目的トイレ

答 今年度中の温水洗浄便座設置に向け準備する。また、現在試験的



赤間駅南口の多目的トイレ



どの子ども豊かに育つ教育環境を 日本共産党／新留 久味子



問 幼稚園で障がい児を受け入れやすくするために、市独自の財政支援を検討できないか。

答 現場の実態を判断し、検討する。

問 修学旅行などで、医療的なケアが必要な子どもに同行する、看護師の派遣を検討できないか。

答 本人や保護者の意向を確認し、安全性の担保や費用負担なども含め協議したい。

問 公共施設内の障がい者用駐車場に、車からバギーなどを出し入れできるスペースを拡充できないか。

答 改善できる場所が



宗像ユリックスの駐車場に駐車した様子



日の里団地再生の波及効果は 豊創会／吉田 剛



問 団地再生の視点で波及効果を生かし、駅前に人が集まるまちづくりができないか。

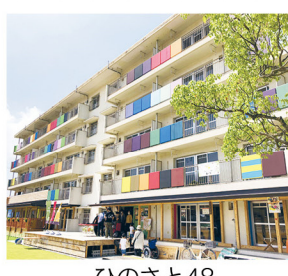
答 駅前の将来性を高めるには、鉄道利用以外で駅周辺を訪れる目的づくりが必要であり、今後、検討を進める。

問 久原、村山田、王丸など周辺地域への波及効果は。

答 文化的つながりの構築、土地利用の加速、消費活動拡大などの波及効果が起り得る。

問 大井台、三倉などで団地再生手法の応用は。

答 駅周辺の機能強化により地区の再生を後押しし、新たな住民と



ひのさと48



就学相談の現状を踏まえて改善を 未来むなかた／上野 崇之



問 通級指導教室などの利用に必要な就学相談は、春夏の予約期間を過ぎると相談できる機会は来年度、就学先の変更は再来年度になる。周知や手続きの改善が必要では。

答 相談件数は増加傾向で、予約終了時期に受付が混雑する。早期に保護者へ周知し、児童生徒にとって望ましい環境を整えるために、必要な見直しを行う。

問 投票率向上に関する取り組みについて

答 大島、地島の繰り上げ投票に伴う課題は、選挙前日と当日に

問 投票率向上に関する取り組みについて

答 大島、地島の繰り上げ投票に伴う課題は、選挙前日と当日に



移動式期日前投票所

スポーツ教室で、多くの子どもたちが気軽に幅広い種類のスポーツに触れ、スポーツの楽しさや成長する喜びを体験し、生涯にわたってスポーツをしようというきっかけになることを目的としている。



問 格納庫付近に、団員の駐車場スペースなどを確保できているか。

答 駐車場が足りない場合は、地域の協力を得ながら対応している。

問 一部の消防車両の運転に必要な準中型免許の取得支援の考えは。

答 令和7年度の予算化に向け検討している。



大島、地島の観光地整備について
笑顔、むなかた／齋藤 元孝



大島には、世界遺産をはじめとした観光素材が数多く存在する。一方で市民には、世界遺産登録のメリットが充分共有されていないように感じる。

問 世界遺産登録後、大島の観光客数や飲食店数などの推移は。

答 登録時の観光客数は初めて11万人を超えた。コロナ禍の影響で一時減少したが、現在は回復傾向である。飲食店数は8件、宿泊施設数は3件増えている。

問 観光地へ向かう道路の草刈りなど、道路整備が不十分との声を聞くが、市の認識は。



地島の沖ノ島展望台



市の雇用対策のさらなる充実を
宗像志政クラブ／石松 修



問 市の雇用対策の基本的な考え方は。

答 地域における就労機会の創出や働きやすい環境づくりなどを通じて「定住都市むなかた」の実現に向けた取り組みを進めたい。

問 福岡労働局と雇用対策協定（※5）を締結する目的と現在の状況は。

答 市が行う地域活性化や雇用創出の取り組みと、労働局、宗像市ふるさとハローワーク、ハローワーク福岡東による就業相談、職業紹介などの施策を連携させ、効果的に実施する協力体制を構築し、雇用情



令和6年 第4回 宗像市議会定例会

提出議案と議決結果

12月定例会で審議した議案のうち、主な議案を紹介します。全ての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

● 賛否が分かれた議案名と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）

議案番号	議 案 名	議員氏名 議決結果	齋藤 元孝	花田 哲司	木村 武士	田中 るみ子	神田 亜希子	三島 隆由	川内 亮	石松 修	木藤 裕司	岩岡 良	上野 崇之	井浦 潤也	小林 栄二	吉田 剛	森田 卓也	安部 芳英	北崎 正則	伊達 正信	新留 久味子
第82号議案	宗像市行政組織条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	◆	○	◆	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	◆
第98号議案	市長等の給与及び旅費に関する条例及び宗像市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	◆	◆	◆	◆	○	○	◆	欠席	○	○	○	○	○	○	○	◆
第99号議案	令和6年度宗像市一般会計補正予算（第6号）について	原案可決	○	○	○	○	◆	◆	◆	○	○	◆	欠席	○	○	○	○	○	○	○	◆

※岡本陽子議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

● 全員賛成で可決した主な議案と内容

議案番号	議 案 名	内 容
第83号議案	財産の取得について	移動式排水ポンプと排水ポンプを運搬する積載車両を購入するため、宗像市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を求めるもの。
第84号議案	財産の取得について	自走式トイレカーを購入するため、宗像市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を求めるもの。
第88号議案	宗像市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について	須恵東地区地区計画が宗像市都市計画審議会で議決されたため、都市計画の決定に伴い、条例の一部を改正するもの。これにより、計画戸数約129戸、計画人口約305人の低層住宅を中心とした住環境の整備が予定されている。

意見書

1件の意見書案を可決し、国に提出しました。

「中学校・高等学校においても35人学級となる少人数学級、定数改善」と「義務教育費国庫負担制度の2分の1還元」を求める意見書（全員賛成で可決）

（要旨）

令和3年の法改正に伴い、小学校での学級編制の標準は、学年に応じて段階的に35人に引き下げることでされており、令和8年3月31日までは完了される。今後は中学校、さらに高等学校での早期実施が必要である。

学校現場では、以前よりも授業時数や指導内容が増加している状況に加え、支援を必要とする子どもたちへの対応や、いじめ、不登校など多様化する生徒指導への対応などさまざまな課題がある。さらに、感染症対応に伴う新たな業務も発生している。

このような状況において、子どもたちの豊かな学びや教職員

の働き方改革を実現するためには、教職員定数の計画的な改善が不可欠である。地方公共団体の中には、加配教員の増員や少数職種の配置増などを独自に実施しているところもある。

国は、地方公共団体任せにするのではなく、国の施策として必要な措置を実施し、財源を保障していく必要がある。

また、義務教育費国庫負担制度については、三位一体改革の中で国庫の負担割合が引き下げられた。その結果、地方公共団体の財政が圧迫され、非正規教職員数も増えている。全国どこに住んでいても、子どもたちが一定水準の教育を受けられることは、憲法上の要請である。以上の観点から、令和7年度政府の予算編成において、次の事項が実現されるよう強く求める。

▼OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、児童生徒数30人以下の少人数学級を推進すること。当面の具体的な学級規模については、1学級当たり35人以下を目指すこと。

▼教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の国庫負担割合を2分の1に還元すること。

編集後記

私たちが市議会だよりを編集します！

議会広報編集委員会

選挙を経て議会広報編集委員会も新体制となりました。宗像市議会基本条例には「議会は、インターネットなど情報技術の発達を踏まえた多様な広報手段を活用する」とあります。現在、市議会だより、ホームページによる広報活動を行っていますが、より充実した議会広報を目指していきたいと思っています。（石松修）



（左から）神田議員、花田議員、齋藤副部会長、石松部会長、三島議員、田中議員

3月 定例会の日程

日程	内容
2/26 水	本会議（議案上程、提案理由の説明）
27 木	本会議（代表質問）
28 金	本会議（一般質問）
3/3 月	本会議（一般質問）
4 火	本会議（一般質問、大綱質疑）
5 水	本会議予備日
6 木	総務常任委員会
10 月	社会常任委員会
11 火	建設産業常任委員会
12 水	考案日
13 木	予算第1特別委員会（※1）
17 月	予算第1特別委員会（※1）
18 火	予算第2特別委員会（※2）
19 水	予算第2特別委員会（※2）
21 金	委員会予備日
27 木	本会議（委員会報告、質疑、討論、採決）

※1 予算第1：一般会計
※2 予算第2：特別会計・企業会計

▼代表質問・一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。
▼請願の提出締切日は2月19日（水）です。
▼本会議と委員会では、ホームページで中継しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。
※日程・内容などが変更になる場合があります。傍聴などの際は事前にホームページで確認するか議会事務局へお問い合わせください。

【お詫び】むなかた市議会だより令和6年11月臨時会号（市広報紙12月号）の2ページに掲載した、花田哲司議員の抱負の欄に、必要のない文字を印字しておりました。お詫びいたします。

市議会のくわしい情報や議会中継はホームページをご覧ください。
お問い合わせは 議会事務局へ TEL 0940(36)1119

宗像市議会

検索



ホームページ二次元コード→

●発行/宗像市議会 ●編集/議会広報編集委員会
●〒811-3492福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591